



学部

実施時期 R5 月 ~ 月

教科  領域  グループ  氏名

① / 欠 【うまくいったこと】 . 【気づいたこと】 . 主・対で深い学びの実現に向けた改善 .	【うまくいかなかったこと】 . .	⑤ / 欠 【うまくいったこと】 . 【気づいたこと】 . 主・対で深い学びの実現に向けた改善 .	【うまくいかなかったこと】 . .
② / 欠 【うまくいったこと】 . 【気づいたこと】 . 主・対で深い学びの実現に向けた改善 .	【うまくいかなかったこと】 . .	⑥ / 欠 【うまくいったこと】 . 【気づいたこと】 . 主・対で深い学びの実現に向けた改善 .	【うまくいかなかったこと】 . .
③ / 欠 【うまくいったこと】 . 【気づいたこと】 . 主・対で深い学びの実現に向けた改善 .	【うまくいかなかったこと】 . .	⑦ / 欠 【うまくいったこと】 . 【気づいたこと】 . 主・対で深い学びの実現に向けた改善 .	【うまくいかなかったこと】 . .
④ / 欠 【うまくいったこと】 . 【気づいたこと】 . 主・対で深い学びの実現に向けた改善 .	【うまくいかなかったこと】 . .	⑧ / 欠 【うまくいったこと】 . 【気づいたこと】 . 主・対で深い学びの実現に向けた改善 .	【うまくいかなかったこと】 . .

**実態について**  
 個別の教育支援計画を確認（その子どもに必要なこと？）  
 個別の指導計画で領域を確認  
 知識を段階化した一覧を実態表として使用し、実態を把握  
 「できない」ことは問題でなく、つまずきの原因が重要  
 (1) この題材で達成が可能？ **【可能性】**  
 (2) 現在の生活で必要は？ **【必要性】**  
 (3) 将来の豊かな生活につながる価値は？ **【価値性】**

**題材目標について**  
 それぞれの子どもの目標を個別化する  
 授業の評価・改善ができるよう、題材の最後の姿（到達像）の具体化する  
 身につけたいことを焦点化する  
 前単元や題材、または、日常生活で意欲的に取り組めた工夫を活用  
 例：教材の仕組み、学習環境の工夫など

**実態**

ア 知識及び技能    イ 思考力・判断力・表現力等    ウ 学びに向かう力・人間性等

**教材について**  
 子どもに身につけてほしい知識及び技能、生活に生かせるような思考力・判断力・表現力等をその教材で習得・育成できる？  
 必要性を感じ、課題をもてる？  
 主体的・対話的な活動は取り入れられる？  
 絵、写真、ビデオなど具体物を使用するなどの工夫ができる？  
 子どもが自分でルールを決めたり、役割を設定したりできる？  
 子どもにとっての強化子はある？

**題材計画について**  
 つまずきの原因分析から、できること・わかることが段階化されている？  
 子どもの学び取りの傾向から課題の引き受けや実施方法が検討・工夫されている？  
 全体の計画と個別の計画がわかるようになっている？  
**【一次】**  
 仕組みを理解したり、楽しさを感じたりできる？  
 活動の意味やよさが十分理解できる？  
**【二次】**  
 二次は確実な知識の習得  
 子どもに到達してほしい頭の使い方がぶれていない？  
 負荷がかかりすぎている？  
 支援が減る、問題の難易度が高まるなどしている？  
 友だちと一緒に学ぶ場が計画されている？  
 自分で考えた仕方や解決方法を生かせる仕組み？  
**【三次】**  
 できるようになったことを生かす場は設定されている？

どうなってほしい？（望む姿・到達像）

**学習環境について**  
 活動の流れや量、しやすさを考えた道具材料の配置？  
 不要な刺激は排除している？  
 仕方や手順がわかりやすく伝えられる？  
 成果が見てわかる？  
 自分で仕方や手順を確かめられる？  
 教具は、思考（わかる）を補助できる？  
 教具は一人で使えるようになる？  
 期待感（してみたい!）をもてる？

**学習指導要領の扱う段階の目標と内容**

**学習活動について**  
 導入は課題理解、興味関心  
 展開は知識習得のため、教具の理解や操作が適切？  
 発展は定着、応用、工夫できる？  
 終末は自己評価と次時への意欲  
 目的や意味、よさがわかる？  
 何をどのくらいどのようにするかわかる？  
 課題は段階的に高まっている？  
 間違いに気づいてやり直せる仕組み？  
 学習の結果と目的がつながって達成感もてる？

【教材の仕組みは?】 【教材名: \_\_\_\_\_】

【全 時間をどう使う?(題材計画)】

知・技

【一次】  
\*教材の  
仕組みや  
課題を  
知る段階

興味・関心  
をもつ

教材の  
仕組みを  
知る

本題材の  
課題を  
もつ

【二次】 \*指導内容を身につける段階  
【わかること】や【できた姿】は?

【具体的状況】や【表出像】は?

【三次】 \*身につけた指導内容を生活に生かす段階

思・判・表

主体的な姿

【めあて達成のための意図と工夫は?(場面設定・教具・働きかけなどと用いる場面)】

- 働きかけについて(HOW TO)
- 自ら考え、判断して行動する手助けをするためのもの
  - 活動「開始時」「途中」「つまずき」「終了時」を想定
  - 誘い、示範例示、助言、説明、問いかけ、盛り上げ、賞賛、励まし、認め、意味づけなどを行う
  - 子どもに合わせた伝わりやすいことばや提示
  - 抑揚や身振り、表情、子どもの好きなものなど工夫
  - つまずきに対して答えてなく段階的な働きかけを
  - 課題遂行につながる効果的なことばかけ
  - 何がよかったかわかるよう即時評価
  - よさや価値を伝えられる認め
  - 働きかけを段階的に減らしていく工夫